Sanriku-geopark
第　88　号
R4年11月～12月合併号
さんりくジオだより
三陸ジオパーク推進協議会

三陸ジオパーク構成市町村長ジオツアーを実施

構成市町村の首長を対象としたジオパークツアーを実施しました。三陸ジオパーク各地のサイトを歩きながら、認定ガイドによる解説や各種プログラムを体験することで、三陸ジオパークの魅力を再発見し、各地域でのジオパーク活動推進に役立てよう、というものです。

ブロックごとにツアーの行程が検討され、広大な三陸ジオパークのエリアから選りすぐりの場所を訪問、体験するツアーになりました。普段からお忙しい皆様には、こういった機会を取ることがなかなか難しいということで、かなりボリューム満点な内容と移動距離でしたが、毎回とても充実したツアーとなり、無事に実施することができました。

中部11月1日

（中部）うみねこ丸に乗船し、うみねこにパンをあげながら、海上から浄土ヶ浜の景色を楽しみました。

↖わかめソフトにも粒々ワカメが♪

（中部）重茂漁協でワカメの芯取り体験
初めてでも大丈夫。自分で詰めてお土産に

（中部）　山田湾クルーズでオランダ島へ
伊藤ガイドの解説は地域の歴史につながる話でとても好評でした

北部11月4日

（北部）普代水門建設の経緯や、震災当時の様子をガイドから聞きしました。

↖ランチメニューは2択から事前予約

（北部）琥珀博物館内をガイド付き見学。琥珀保全の大切さを学びました。併設のレストラン「くんのこ」のランチも堪能！

（北部）種差天然芝生地。岩脈と芝生、夕暮れの空の色のコントラスト…。

南部11月14日

（南部）　昼食には釜石ジオ弁当をいただきました♪
旧釜石鉱山事務所の2階には、当時の採掘現場がわかる模型が置いてあり、そう遠くない以前のくらしの様子が想像できます。

（南部）　普段は立ち入り禁止となっているタピック45。特別にガイドしていただきました。

（南部）関谷洞窟。龍泉洞とはまた違う魅力がある、“鍾乳洞の原風景”。

《ジオトレイン①　岩泉》

11月13日小本まつりにあわせて催行

三陸鉄道（株）との共同企画、三鉄ジオトレインが今年度も運行します。今回は、宮古駅から岩泉小本駅までのトンネル区間を手配したタブレット車両の中で松下ガイドがスライドを使って解説しました。小本駅からは岩泉の竹花ガイドに交代し、茂師海岸からトレイルルートを通り、祭りで賑わう愛土館に到着。現地で中野七頭舞を見学してきました。

小本まつりは3年ぶりに開催され、餅まきもありました。

三陸ジオパーク・現地推進員が記者となってお伝えするコーナー

毎回いろいろな情報を掲載いたしますので、どうぞお楽しみに！

今回の記者：里舘　徹（いわて復興応援隊／宮古地域振興センター配置）

第12回日本ジオパーク全国大会　白山手取川大会

白山手取川大会に参加しました。

日本ジオパーク全国大会が10月21日～23日に石川県白山市で開催されました。今回開会式と分科会そして23日のポスター発表に参加してきました。

大会のオープニングセレモニーは「かんこ踊」と「御酒（ごんしゅう）」から始まりました。郷土に伝わる指定無形文化財に触れてこれもジオなのだと心躍る気持ちでスタートしました。

開会セレモニーのあと真鍋真氏による基調講演があり「約100万種の動植物が数十年で絶滅する危機を迎えている」という話が印象に残りました。続いてパネルディスカッションでは5人の登壇者によるお話しは大変参考になりました。

会場周辺は歩行者天国になり各地のジオパーク特産品が購入できるスペースが設けられ賑わってました。

分科会①

午後からは「ジオパークだからできるDX化」に参加しました。金沢工業大学産学連携事務局福田次長様を中心にジオの概念を取組み再編集してエコシステムを作り上げていこうと言う事で経済・社会・環境のキーワードで繋ぐというものです。早速7つの班に分かれ、それぞれDX化するにはどうすればよいか意見を出し合います。私の班はそれぞれの地域の問題点や改善点を一つにして内容をまとめていきました。班のリーダーとなった福島県磐梯町の秋山さんはDXに詳しくまた色々なアイディアをもっていたので大変勉強になりました。最後は各班でユニークな発想でまとめたものを発表してこの分科会は終了しました。今後横の繋がりをするためにDXに関心のある方は皆で一緒に考えていきましょうという事でした。

三陸ジオパークかわらばん作品展　～岩泉町～

事前学習会「さんりくジオパークかわらばんの作品作りに役立てよう！」を取材（第85号掲載）していたので、どんな作品になったのか楽しみにしていました。どの作品も素晴らしく、子供たちがそれぞれの視点で感じた事をまとめていました。今回発表した作品は新しい「ジオ」の発見がありました。来年の１月には気仙地区、釜石、岩泉合同の作品展示の予定があります。楽しみです。

～釜石シープラザで作品展開催～　　～陸前高田市立博物館で表彰式～

今年度のさんりくジオパークかわらばん作品展は、気仙地域と釜石市でもそれぞれの地域の子供たちが作品を描いて応募してくれました。今まで身近でも気づかなかったことや知らなかった地域の良さをジオパークでたくさん発見しました。

冬休みスペシャル〈さんりくジオイベント〉開催！

三陸ジオパーク だよ！

～ジオタウン@釜石～

参加無料

2023.1.7(土) ▸ 8(日) 10：00 ▸ 16：00

イオンタウン釜石（岩手県釜石市港町２丁目１－１）

〈会場〉館内全域

三陸ジオパークでクイズラリー

所要時間 15分程度

三陸ジオパークエリア沿岸16市町村からのクイズ問題が館内のあちこちに登場！
参加者には各地の名産品などが当たる抽選あり！ミッションクリアが多いほどチャンスアップ♪
当日プログラムをゲットしてチャレンジしてね

目印はこのポップ♪

〈会場〉2階 センター通路

さんりくジオパークかわらばん2022作品展 ～子どもたちが見つけた三陸ジオパークの魅力～

「地域で見つけたジオパーク」をテーマに、岩泉町、釜石市、気仙地域（大船渡市・陸前高田市・住田町）の子どもたちがまとめた、力作ぞろいのかわらばん作品を展示します。（1月15日まで終日展示）

〈会場〉2階 3階 フロア全域

プチ体験！三陸ジオガイドツアー

所要時間 15分程度　2階受付からスタート

ジオタウンでジオツアー体験!!
三陸の有名な景勝地や見どころにまつわるお話を聞いてみよう！

釜石の鉄のお話を、認定ジオガイドがお手製の紙芝居で発表！
開催日：1月7日(土)
①11：30～　②13：30～　③15：00～

〈会場〉2階 イオンタウンホール

岩石標本の展示コーナー

純三陸産

～５億年の大地と三陸のおはなし～

この石はいつから三陸にあるのかな？
どうやってできたのかな？
石から分かることってたくさんあるんです。

岩手県立博物館の学芸員さんの特別出張による、ミニ展示解説会をぜひどうぞ♪
開催日：1月8日(日)
①11：30～　②13：30～　③15：00～

各回 15分程度

〈会場〉3階 ユニクロ前

アンモナイトレプリカづくり

大好評 先着順

こねこね楽しい♪
自分だけのオリジナルアンモナイトを作ってみよう！※材料がなくなり次第終了

〈会場〉2階 3階 フロア全域

ご当地キャラクターと写真を撮ろう!!

イオンタウン釜石内のどこかにゆるキャラが出没！
あなたの町のキャラクターと会えるかな？

お問い合わせ　三陸ジオパーク推進協議会（岩手県宮古地区合同庁舎２F）
☎ 0193-64-1230
✉ info@sanriku-geo.com

〈主催〉三陸ジオパーク Sanriku Geopark　〈共催〉イオン環境財団　日本ジオパークネットワーク　〈協力〉イオンタウン釜石

三陸ジオパーク・現地推進員が記者となってお伝えするコーナー

毎回いろいろな情報を掲載いたしますので、どうぞお楽しみに！

今回の記者：町田　恵太郎（いわて復興応援隊／久慈事務所配置）

全国では珍しい海の見える滝ダムです

洋野町の天文台と久慈市の地形との繋がりとは？！

先日、久慈市の滝ダムから市街地を眺めていた時、三陸ジオパーク認定ガイドさんのお話を思い出したので皆さんにご紹介したいと思います。

まずは滝ダムから久慈市の街中を撮った右の写真をご覧ください。

久慈市の中心街は標高が低い川沿いに多くの住宅が建てられ、その両側は山で覆われているのが分かります。

さて、その久慈市の北にある洋野町のひろのまきば天文台は、2007年度環境省が主催する冬季全国星空継続観測の部で日本一星空が見やすい地点になっています。

周辺に高い山などがなく、見晴らしいが良いことが理由の一つですが、これは天文台が大野海成段丘の上にあるから。なだらかな場所には乳牛などを育てる牧場がありますが、ここで作られる「おおのゆめミルク」などの乳製品の名前は聞いたことがあるのではないでしょうか。

そして、星空が良く見えるもう1つの条件として“暗さ”があります。

人口の多い八戸市と久慈市が近いひろのまきば天文台では、人々が生活する光も多くて星空観測としてはマイナス要素となる「光害」が発生してもおかしくはありません。

このマイナス要素を覆す根拠については先程の久慈市の写真が説明してくれます。

山に囲まれ標高が低い土地に建てられた久慈市の家々から発する光は天文台まで届きにくく、また八戸市からの光はすぐ南にそびえる標高740mの階上岳が遮っている、ということなのです。

このように周辺の地形が、ひろのまきば天文台の観測にも深く関係しているという「なるほど」な面白いお話でした。

編集後記：　毎月発行を目指していた「ジオだより」ですが、今回は合併号となりました。急きょイベントを開催することになり、短期間で各関係者との調整や手配にかかり、まさに準備たけなわというところです。

2年ほど前に、現地のジオサイトも問題に含めた地域のクイズラリーが開催されたのですが、参加者の皆さんが口をそろえて楽しかったという感想があったので、クイズラリーは地域のイベントとして、おススメでした。思いもよらず大がかりなイベントになりましたが、参加者もスタッフも楽しい盛りだくさんなプログラムです。どうぞご来場ください！　　～と～

三陸ジオパーク推進協議会

〒027-0072

岩手県宮古市五月町1－20

（宮古地区合同庁舎2階）

TEL:0193-64-1230

FAX:0193-64-1234

info@sanriku-geo.com

https://sanriku-geo.com/

Facebookはこちら